

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	42100	公衆便所維持管理費		担当課	水道部 下水道課	内線	2264
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちめざして
	款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生
	項	2	清掃費		基本施策	1	快適に暮らせる環境を整備する
	目	1	清掃総務費		施策	4	公衆衛生の向上
根拠計画							
実施計画事業 公衆便所管理事業、公衆便所整備事業							
市長公約							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客	対象者数	3,769,000 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	誰でも快適に利用できる公衆便所の整備や維持管理を行う		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して快適に公衆便所を利用できるように清掃等の維持管理を行う 観光客等の動向とニーズの変化を見極め、公衆便所の整備、改修の必要性を検討する 		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	定期的な清掃の実施																																																																																																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>目標・実績</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">活動指標 公衆便所の設置</td> <td rowspan="2">箇所</td> <td>目標値</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>所管する公衆便所の箇所数</td> <td>達成率(%)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">活動指標 公衆便所の維持管理</td> <td rowspan="2">日数</td> <td>目標値</td> <td>366</td> <td>365</td> <td>365</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>366</td> <td>365</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>トイレの維持管理日数</td> <td>達成率(%)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">活動指標 公衆便所の新規整備</td> <td rowspan="2">箇所</td> <td>目標値</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>整備箇所数</td> <td>達成率(%)</td> <td>100</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標 公衆便所の維持管理に対する苦情</td> <td rowspan="2">件</td> <td>目標値</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>実際に寄せられた苦情</td> <td>達成率(%)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td></td> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">補足事項</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">コスト面</td> <td colspan="2">事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)</td> <td>H23 決算額</td> <td>H24 決算額</td> <td>H25 予算額</td> </tr> <tr> <td colspan="2">歳出(千円)</td> <td>(A) 24,838</td> <td>13,136</td> <td>17,242</td> </tr> <tr> <td colspan="2">受益者負担(使用料・負担金等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他特定財源(国・県支出金・起債等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">一般財源</td> <td>24,838</td> <td>13,136</td> <td>17,242</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コスト指標</td> <td colspan="2">受益者1件当たり(円)</td> <td>(A/B) 7</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">受益者 観光客入込み数</td> <td>(B) 3,481,000</td> <td>3,769,000</td> <td>3,769,000</td> </tr> </tbody></table>					指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	活動指標 公衆便所の設置	箇所	目標値	12	12	12	実績値	12	12	-	算出根拠等	所管する公衆便所の箇所数	達成率(%)	100	100	-	活動指標 公衆便所の維持管理	日数	目標値	366	365	365	実績値	366	365	-	算出根拠等	トイレの維持管理日数	達成率(%)	100	100	-	活動指標 公衆便所の新規整備	箇所	目標値	1	0	0	実績値	1	0	-	算出根拠等	整備箇所数	達成率(%)	100	-	-	成果指標 公衆便所の維持管理に対する苦情	件	目標値	0	0	0	実績値	1	0	-	算出根拠等	実際に寄せられた苦情	達成率(%)	-	-	-			目標値						実績値				算出根拠等		達成率(%)				補足事項					コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	歳出(千円)		(A) 24,838	13,136	17,242	受益者負担(使用料・負担金等)					その他特定財源(国・県支出金・起債等)					一般財源		24,838	13,136	17,242	コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 7	3	5	受益者 観光客入込み数		(B) 3,481,000	3,769,000	3,769,000
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25																																																																																																																																	
	活動指標 公衆便所の設置	箇所	目標値	12	12	12																																																																																																																																	
			実績値	12	12	-																																																																																																																																	
	算出根拠等	所管する公衆便所の箇所数	達成率(%)	100	100	-																																																																																																																																	
	活動指標 公衆便所の維持管理	日数	目標値	366	365	365																																																																																																																																	
			実績値	366	365	-																																																																																																																																	
	算出根拠等	トイレの維持管理日数	達成率(%)	100	100	-																																																																																																																																	
	活動指標 公衆便所の新規整備	箇所	目標値	1	0	0																																																																																																																																	
			実績値	1	0	-																																																																																																																																	
	算出根拠等	整備箇所数	達成率(%)	100	-	-																																																																																																																																	
	成果指標 公衆便所の維持管理に対する苦情	件	目標値	0	0	0																																																																																																																																	
			実績値	1	0	-																																																																																																																																	
	算出根拠等	実際に寄せられた苦情	達成率(%)	-	-	-																																																																																																																																	
		目標値																																																																																																																																					
		実績値																																																																																																																																					
算出根拠等		達成率(%)																																																																																																																																					
補足事項																																																																																																																																							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額																																																																																																																																		
	歳出(千円)		(A) 24,838	13,136	17,242																																																																																																																																		
	受益者負担(使用料・負担金等)																																																																																																																																						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)																																																																																																																																						
	一般財源		24,838	13,136	17,242																																																																																																																																		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 7	3	5																																																																																																																																		
	受益者 観光客入込み数		(B) 3,481,000	3,769,000	3,769,000																																																																																																																																		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・本事業は観光客のみならず市民を含め、誰でも利用できる公衆便所の維持管理であり、老若男女、健康者、障がい者問わず快適に利用できるよう、清掃等維持管理と整備を行っていくことは、観光都市高山においては必要条件であり、ニーズも非常に高い
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・公衆便所は誰もが利用できる公共性の非常に高い施設である ・観光客の利便性の向上と衛生面の確保という観点からも市で実施することが必要
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	・トイレの快適性維持のため、毎日清掃を行っており、衛生的に一定レベルは確保されている。清掃については民間業者に業務委託を行っており、よく回る排水管のつまり等にもバキュームカーでの吸引等、即日対応ができており、維持管理については適切に行われていると考える
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・観光客等利用者に「対する公衆トイレの利便性及び快適性は確保できておりコスト的にも見合った成果が上がっていると考えるが、利便性を確保した中での維持管理費の低減について、引き続き取り組んでいく必要がある。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・政策においても総合計画に位置付けられており、観光客500万人(目標)の高山滞在中の利便性及び快適性の向上及び受入体制の充実、国際観光都市高山にとって観光客誘致には不可欠であり、重要性は非常に高い
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・施設の整備・修繕・改修については、観光客等の動向と利用者ニーズの変化を見極めるとともに、継続して必要性の検討を行っていく必要がある。
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・引き続き、清潔で使用しやすい公衆便所として維持管理を行っていく
----------------------	----------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> トイレにおける衛生面の確保と快適性の維持のため、清掃は定期的に行っている 利用者からの苦情は現時点では「0」であるが、今後も適正な維持管理と清掃時における利用者への丁寧な対応に心がけるよう、委託業者とも連絡を取り合う 利用者の利便性の向上のため、中心市街地にある3か所の公衆便所の便器の洋式化工事を行う。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・引き続き、清潔で使用しやすい公衆便所として維持管理を行っていく				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	42115	浄化槽設置整備事業費		担当課	水道部 下水道課	内線	2264
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちめざして
	款	4	衛生費		分野	5	上・下水道
	項	2	清掃費		基本施策	2	生活環境の向上と流域の水質保全を図る
	目	1	清掃総務費		施策	2	水洗化の普及
根拠計画							
実施計画事業 浄化槽整備事業補助							
市長公約 6 市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	下水道整備計画区域外の市民	対象者数	32 世帯
	どういう状態にしたいのか(意図)	・下水道が整備されていない地域の生活排水による公共水域の水質汚濁の進行を防止し、生活環境を向上させる		
概要	事業の実施手法(手段)	・下水道整備計画区域外の地域(浄化槽整備区域)で浄化槽を設置する市民に対して補助金を交付する ・特に建築年数が経っている既存の住宅については補助を上乗せし、個人負担を大幅に軽減することで、水洗化を推進する		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・浄化槽整備事業補助金交付実績 22件					
	指標名 単位 目標・実績 H23 H24 H25						
	成果指標	浄化槽設置整備事業補助金交付件数	件	目標値	40	32	33
				実績値	25	22	-
				算出根拠等	交付件数	達成率(%)	63
	成果面	算出根拠等		目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
	成果面	算出根拠等		目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
	成果面	算出根拠等		目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
	成果面	算出根拠等		目標値			
実績値						-	
達成率(%)						-	
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	22,686	24,061	35,040	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			9,923	8,841	7,066	
	一般財源			12,763	15,220	27,974	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	907,440	1,093,682	1,061,818	
	受益者	補助金利用者	(B)	25	22	33	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・浄化槽補助対象地域は下水道整備計画区域外であるため、補助金交付対象となる市民は限定されるが、排水設備の導入時に個人負担が軽減されることから、ニーズはある
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・下水道整備計画区域外の公共水域の保全と生活環境の向上を図るうえで、浄化槽の設置に対して市が支援することは、住宅の水洗化を進めるためにも有効である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・浄化槽補助交付件数は目標値を下回っているため、市民に対し制度の周知により、住宅の水洗化及び浄化槽の設置を促すように努める必要がある
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・補助額がそのまま市民の浄化槽設置に対する金銭的支援であるので、コスト＝市民への効果となり、補助希望者が増(減)すればコストも増(減)することとなる ・現行制度は国・県の補助も含まれているので、引き続き補助を行う
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・下水道整備計画区域外の市民が対象であるが、市長公約である「下水道の整備」の整備区域外の市民に対し、浄化槽の設置を促進、支援することで河川の水質汚濁防止と生活環境の向上を図ることは、政策的優先度は高い
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 10	→	100点換算	70 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・市民が浄化槽の設置において、補助金により軽減できる制度を知ることができるよう、様々な周知方法を活用し、浄化槽の設置を推進する
--	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・公共水域の保全、生活環境の向上のため、補助事業を継続する
----------------------	-------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・補助制度の周知にあたっては、行政サイドから市民への周知活動だけでなく、関係業者とも連携した周知活動をあわせて進めていく
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・公共水域の保全、生活環境の向上のため、補助事業を継続する				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	42300		し尿処理施設管理事業費	担当課	水道部 下水道課		内線
	種別					2971	
	会計	1			一般会計	政策	
予算	款	4	衛生費	総合計画	分野	6	環境・衛生
	項	2	清掃費		基本施策	1	快適に暮らせる環境を整備する
	目	3	し尿処理費		施策	5	し尿処理対策
根拠計画							
実施計画事業 し尿処理施設管理事業、し尿処理施設維持修繕・改修事業							
市長公約 6 市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	し尿及び浄化槽設置の市民	対象者数	14,828 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・処理施設を適正に運転管理を行うことで汚水を適切に処理し、公共水域の水質保全と生活環境の向上に努める。 ・適切に維持管理を行うことで、施設の健全化及び延命化を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的に発生する修繕に対応し、継続して汚水の処理を行う。 ・専門的知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準内に処理する。 ・汚水の処理に伴い発生する汚泥(一般廃棄物)を適切に処理する。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績		・定期修繕などを行い施設の機能維持を実施 ・処理施設において、処理した水は排水基準内であった。 ・委託業者の定期的な保守点検作業により機器等の故障による処理停止もなく、適切な汚水の処理を行った。 ・し尿、浄化槽汚泥の適切な処理の実施				
	指標名						
		単位	目標・実績	H23	H24	H25	
	活動指標	維持管理するし尿処理場数	施設	目標値	2	2	2
				実績値	2	2	-
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	-
	成果指標	排水の水質基準適合処理場	施設	目標値	2	2	2
				実績値	2	2	-
	算出根拠等	水質検査結果		達成率(%)	100	100	-
	成果指標	機器故障、停電等によるし尿処理不能件数	件	目標値	0	0	0
				実績値	0	0	-
	算出根拠等	事故報告		達成率(%)			-
			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
補足事項							
・定期による通常維持管理業務のほか、突発事故(停電・機器故障)発生時には速やかに対応							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 182,415	181,764	197,319		
	受益者負担(使用料・負担金等)		5,394	5,511	4,204		
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		177,021	176,253	193,115		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 11,648	12,258	13,307		
	受益者	し尿及び浄化槽設置の市民 (B)	15,661	14,828	14,828		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価対象外	・し尿、浄化槽汚泥を速やかに処理するためには、し尿処理施設の維持管理は必要不可欠である。	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・し尿や浄化槽汚泥などの一般廃棄物の処理は市町村が行うべきことである。従って、し尿処理施設の維持管理は市町村が行うことが原則であり、公共水域の水質保全と市民の生活環境の向上のためにも非常に重要な事業である。	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・処理した水は排水基準に適合する水質を維持している。コスト削減を図りながら適正にし尿処理施設の維持管理を行っており、成果指標の数値は達成している。	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・し尿処理施設の運転管理は業者に委託しており、適切な管理がなされている。軽微な修繕等は受益者が行っており、コスト削減と即座の対応を意識した取り組みを行っている。	
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・市民の生活環境の向上と公共水域の水質保全のため、し尿や浄化槽汚泥等の適正処理を行っていくことの政策的重要性は高い。	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		7 / 8	→	100点換算	88 点

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にすることを必要なのかを記入)	・機器の修繕にあたってはコストの削減に努めているが、老朽化した設備の突発修繕も多く発生している状況である。 ・計画的に設備の補修や部品等の交換を行うことにより修繕箇所を減らし、施設の延命化とコスト削減を図る必要がある。

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・し尿処理施設の適切な管理運営を継続して行っていく
----------------------	---------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・長期的な修繕計画を立てることにより、修繕費用の平準化を進めるとともに、より効率的な管理方法を検討している。 ・委託業者とコスト削減に向けた取組を進めている。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	・し尿処理施設の適切な管理運営を継続して行っていく				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	11100	管きよ建設事業費	担当課	水道部 下水道課	内線
	種別				2267
予算	会計	6	下水道事業特別会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	1	下水道事業費	分野	5 上・下水道
	項	1	下水道施設費	基本施策	2 生活環境の向上と流域の水質保全を図る
	目	1	管きよ建設事業費	施策	1 下水施設の整備
根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画				
実施計画事業	下水道管きよ整備事業				
市長公約	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	公共下水道処理区域内の市民	対象者数	63,232 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道管きよを整備し市民の住環境を整備、改善を図る ・公共水路への汚水流失を防ぐことにより、住みよく、衛生的な生活環境の確保を図る 		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道の未普及地区に下水道管きよを布設する ・経年劣化により表面が摩耗したマンホール蓋を、スリップ事故防止及び浸水対策として下水道事業整備5か年計画に準じて更新する 		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新宮町ほか公共下水道処理区域内の管きよ整備 ・マンホール蓋の更新 					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	下水道整備面積	ha	目標値	10	2	1
				実績値	10	3	-
	算出根拠等	達成率(%)		100	171	-	
		目標値		100	100	100	
	成果指標	下水道普及率	%	実績値	100	100	-
				達成率(%)		100	100
	算出根拠等	目標値					
		実績値				-	
	算出根拠等	達成率(%)				-	
		目標値					
	算出根拠等	実績値				-	
		達成率(%)				-	
	補正事項						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	99,776	74,818	84,584	
	受益者負担(使用料・負担金等)			13,924	48,896	5,184	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			85,852	25,922	79,400	
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,568	1,183	1,338	
	受益者	処理区域内の市民	(B)	63,620	63,232	63,232	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・町内要望での下水道未整備地区への整備要望は少なくない
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・高山市の地形条件より、公共下水道は2以上の市町村が受益する施設でないため、事業主体を見直す余地はない
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・下水道普及率はほぼ100%と高い
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	<ul style="list-style-type: none"> ・埋設深、管路布設ルート等を検討しコスト縮減を図っている ・管きよ建設整備は市が主体となり計画・整備を行っている ・管きよ建設整備は全て国庫補助金を活用している ・受益者負担と事業費を検証しながら進めていることから、受益者1人あたりのコストは適正である ・宅地開発分譲地への管きよ整備の要望が多い
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・下水道整備は、各家庭の快適な住環境整備に有効であり、水路をはじめとする公共水域の衛生、水質改善に大いに寄与している
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題 (JA) 評価するために何が必要なのかを記入)	・今後整備を進める箇所は、民間による宅地造成地が主となるためコスト高が懸念される
---	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道を整備する上で、事前に住民の下水道参加同意を得て、整備コストを考えながら事業を進める ・経年劣化しているマンホール蓋の更新を計画的に行う
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・民間による宅地開発申請時に、将来の下水道整備を見込んだ指導を進める ・管きよの耐用年数が10年後となる箇所があり、管きよの長寿命化計画の方針を検討する
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道を整備する上で、事前に住民の下水道参加同意を得て、整備コストを考えながら事業を進める ・経年劣化しているマンホール蓋の更新を計画的に行う 					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	(担当課評価に同じ)					

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	11220	処理場改修事業費	担当課	水道部 下水道課	内線
種別	6	下水道事業特別会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	2971
予算	会計	6	分野	5 上・下水道	
	款	1	基本施策	2 生活環境の向上と流域の水質保全を図る	
	項	1	施策	1 下水施設の整備	
目	2	処理場建設事業費			
根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画				
実施計画事業	下水道処理施設等耐震化事業、下水道処理場改修事業				
市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	公共下水道処理区域内の市民	対象者数	63,232 人
概要	どういった状態にしたいのか(意図)	・耐用年数の経過等により老朽化及び機能が低下した宮川終末処理場の機器の更新及び延命化を行い、処理場の機能維持を図る		
	事業の実施手法(手段)	・宮川終末処理場の老朽化した設備及び機器を計画的に更新を行うとともに、長寿命化工事(汚泥掻き機、送風機、汚泥脱水機等)を実施する ・処理場管理棟の耐震補強を行う		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	<ul style="list-style-type: none"> 長寿命化工事(汚泥掻き機、送風機)を実施 脱臭設備増設のための詳細設計を実施 汚泥減量化のため消化槽増設工事に着手 					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	設備の改修	件	目標値	7	6	6
				実績値	7	3	-
	成果指標	算出根拠等	設備の更新及び長寿命化工事の件数	達成率(%)	100	50	-
				目標値	1	1	1
		算出根拠等	適合処理場	実績値	1	1	-
				達成率(%)	100	100	-
		算出根拠等		目標値			
				実績値			
		算出根拠等		達成率(%)			
				目標値			
		算出根拠等		実績値			
				達成率(%)			
		算出根拠等		目標値			
実績値							
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	136,701	262,479	642,270	
	受益者負担(使用料・負担金等)			7,407	14,049	43,420	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			129,294	248,430	598,850	
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	2,149	4,151	10,157	
	受益者	処理区域内の市民	(B)	63,620	63,232	63,232	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価対象外	・生活排水等の汚水を速やかに処理するためには、処理場の機能強化は必要不可欠である
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・下水道施設の維持管理は市町村が行うことが原則であり、公共水域の水質保全と市民の生活環境の向上のためにも非常に重要な事業である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・老朽化した機器の更新や設備の延命化を図ることで安定して汚水処理が可能となることから、計画的に機器の更新及び改修を行っている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・国の補助金を最大限活用するとともに、下水処理の安定的な稼働を確保するため、耐用年数を超過し老朽化した機械設備など、長寿命化計画に基づき設備の長寿命化を図っている
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・総合計画、市長公約に基づき、下水道施設の整備と維持管理を行っているが、市民の生活環境の向上と公共水域の水質保全のため、生活排水等の適正処理を行っていることの政策的重要性は高い
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 8	→	100点換算	88 点
----	-------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	<ul style="list-style-type: none"> 下水道事業整備5か年計画に基づき設備の更新は計画的に行っている 施設は供用開始から年数が経過し老朽化が進んでいる設備が多いことから、更新計画については定期的に見直ししていく必要がある
--	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	<ul style="list-style-type: none"> 下水道整備5か年計画に基づき長寿命化工事を実施する 次期の下水道事業整備5か年計画を策定するため、設備の現状と稼働状況を把握するとともに、維持管理を行っている現場の意見を取り入れ、効率的な維持管理方法の検討を行う
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 設備の更新及び長寿命化工事については、5か年計画に基づき計画通り進めている 老朽化している設備の稼働状況の把握に努めている
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H25完了予定
	<ul style="list-style-type: none"> 下水道整備5か年計画に基づき長寿命化工事を実施する 次期の下水道事業整備5か年計画を策定するため、設備の現状と稼働状況を把握するとともに、維持管理している現場の意見を取り入れ、効率的な維持管理方法の検討を行う 				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H25完了予定
	<ul style="list-style-type: none"> 将来を見据えて適正な規模で計画的に長寿命化工事を進める必要がある。 				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	12100	特定環境保全管きよ建設事業費	担当課	水道部 下水道課	内線
種別					2267
予算	会計	6	下水道事業特別会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめぐして
	款	1	下水道事業費	分野	5 上・下水道
	項	2	特定環境保全下水道施設費	基本施策	2 生活環境の向上と流域の水質保全を図る
	目	1	管きよ建設事業費	施策	1 下水道施設の整備
根拠計画	高山市下水道事業整備5ヵ年計画				
実施計画事業	国府特定環境保全公共下水道整備事業、奥飛騨温泉郷特定環境保全公共下水道整備事業				
市長公約	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	特定環境保全公共下水道処理区域内の市民	対象者数	14,485 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・下水道管きよを整備し市民の住環境を整備、改善を図る ・公共水路への汚水流失を防ぐことにより、住みよく、衛生的な生活環境の確保を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	・国府処理区及び栃尾処理区の下水道未普及地区に下水道管きよを布設する		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・奥飛騨温泉郷神坂地区内の管きよ整備 ・国府町今地区内の管きよ整備					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	下水道整備面積	ha	目標値	2	3	3
				実績値	2	3	-
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	-
	成果指標	下水道普及率	%	目標値	96	96	96
				実績値	95	95	-
	算出根拠等			達成率(%)	99	99	-
	算出根拠等			目標値			-
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
	算出根拠等			目標値			-
実績値						-	
算出根拠等			達成率(%)			-	
補正事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	繰出(千円)		(A)	108,360	106,014	118,357	
	受益者負担(使用料・負担金等)			6,953	25,519	9,757	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			101,407	80,495	108,600	
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	7,406	7,319	8,171		
	受益者	(B)	14,631	14,485	14,485		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・各地域の市民ニーズが高く、整備後には早期のつなぎ込みが行われている
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・高山市の地形条件より、特定環境保全公共下水道は2以上の市町村が受益する施設でないため、事業主体を見直す余地はない
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・下水道普及率は徐々に高くなり、100%近くとなっている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・埋設深、管路布設ルート等を検討しコスト縮減を図っている ・管きよ建設整備は市が主体となり計画、整備を行っている ・管きよ建設整備は全て国庫補助金を活用している ・受益者負担と事業費を検証しながら進めているが、地区によっては単年度ではバランスが取れていない
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・下水道整備は、各家庭の快適な住環境整備に有効であり、水路をはじめとする公共水域の衛生、水質改善に大いに寄与している
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		
合計		9 / 10	→	100点換算 90 点

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入) ・受益者負担と事業費を検証しながら進めているが、地区によっては事業費がコスト高となり、受益者負担とのバランスが取れていない

(参考) H24事業評価結果(二次評価) ・下水道を整備する上で、事前に住民の下水道参加同意を得て、整備コストを考えながら事業を進める

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・単年度単位では事業費と受益者負担とのバランスが取れていないが、下水道利用が可能となった箇所の利用率を上げる					
次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・下水道を整備する上で、事前に住民の下水道参加同意を得て、整備コストを考えながら事業を進める					
二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
(担当課評価に同じ)						

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	21100	一般管理事務費		担当課	水道部 下水道課		内線	2253
予算	会計	6	下水道事業特別会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	2	総務費		分野	5	上・下水道	
	項	1	総務管理費		基本施策	2	生活環境の向上と流域の水質保全を図る	
	目	1	一般管理費		施策	2	水洗化の普及	
根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画							
実施計画事業	水洗化普及促進事業							
市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	公共下水道、特定環境保全公共下水道処理区域内の市民	対象者数	77,717 人
概要	どういった状態にしたいのか(意図)	・安定した下水道事業の運営のため、下水道の受益者に対し、下水道事業受益者分担金・負担金及び下水道使用料を適正に賦課、徴収し、収入の確保を図る ・できるだけ多くの市民に下水道を使用してもらえよう水洗化の普及を促進し、使用料収入の確保を図る		
	事業の実施手法(手段)	・分担金・負担金及び使用料の賦課及び徴収を適正に行う ・水洗化の普及促進のため、水洗便所等改造資金融資あっせん制度の周知と利用促進をすすめる		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・下水道事業受益者分担金・負担金及び下水道使用料の適正な賦課、徴収 ・上下水道課と連携を図り、水道料金、下水道使用料の滞納整理を実施 ・水洗化啓発文書の送付、個別訪問等による水洗化普及の実施 ・未水洗化世帯の未水洗理由のアンケート調査を実施					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	成果指標	下水道事業受益者分担金現年度収納率	%	目標値	100	100	100
				実績値	86	92	-
				算出根拠等	達成率(%)	86	92
	成果指標	下水道事業受益者負担金現年度収納率	%	目標値	100	100	100
				実績値	95	98	-
				算出根拠等	達成率(%)	95	98
	成果指標	下水道使用料現年度収納率	%	目標値	100	100	100
				実績値	99	99	-
				算出根拠等	達成率(%)	99	99
	活動指標	水洗化率(市全体)	%	目標値	100	100	100
				実績値	85	87	-
				算出根拠等	達成率(%)	85	87
				目標値			
実績値							
算出根拠等				達成率(%)			
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	103,511	96,466	111,577	
	受益者負担(使用料・負担金等)			103,511	96,466	111,577	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A./B)	1,323	1,241	1,436	
	受益者	処理区域内の市民	(B)	78,251	77,717	77,717	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価対象外	・当事業は、下水道事業受益者分担金・負担金及び下水道使用料の適正な賦課、徴収を行い、下水道事業の安定した財源の確保、運営を図ることを目的とするため、ニーズについては評価し難い
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・下水道事業受益者分担金・負担金及び下水道使用料の適正な賦課、徴収は、下水道施設を整備し管理運営をしている市が行うべきことである
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	・下水道使用料収入は99%以上と高い収納率を確保している ・負担金及び分担金の収納率が前年より向上しているが、未収分については滞納整理により収入確保に努める必要がある ・水洗化率は概ね順調に推移しているが、水洗化率の伸びが鈍化している地域がある
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・下水道事業受益者負担金電算業務や下水道使用料徴収業務の委託を行い、事務の効率化とコスト削減を図っているが、委託の内容等を見直し、さらに縮減できるよう努める ・水洗便所等改造資金融資預託金は、融資残高に応じた必要最低限の預託とし、コスト削減を図っている
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・下水道事業の財源を確保することにより、安定した運営が図られているが、更なる収納率の向上に努める ・水洗化が進むことにより、水質保全、生活環境の向上が図られるとともに、使用料収入の増加につながる
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	6 / 8	→	100点換算	75 点
----	-------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・滞納処分、給水停止などを行い、更なる収納率の向上に努める必要がある ・委託の内容等を見直し、さらに縮減できるよう努める必要がある ・未水洗化世帯の分析を行い、有効的な普及事業を行う必要がある
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・収納率向上に向け、差し押さえ等滞納に対する対応の強化を図る必要がある。
----------------------	--------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・定期的に滞納整理を実施するとともに、下水道使用料に関しては、上下水道課と連携を図り、給水停止を実施しながら徴収強化を図っている ・委託業務については、さらに縮減できるものはないか業務内容の見直しと分析を行う ・下水道等の管きょ布設は、接續の確約をとってから施工する ・水洗化率の伸びが鈍化している地域の普及強化
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H25完了予定
	・課題について、分析等を行うとともに、継続して事業を実施する				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H25完了予定
	・収納率向上に向け、差し押さえ等滞納に対する対応の強化を図る必要がある。 ・整備済地域の水洗化率向上を図る必要がある。				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	22100	管きよ管理費	担当課	水道部 下水道課	内線 2267	
	種別					
予算	会計	6	下水道事業特別会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	2	総務費	分野	5	上・下水道
	項	2	下水道施設管理費	基本施策	2	生活環境の向上と流域の水質保全を図る
	目	1	管きよ管理費	施策	1	下水道施設の整備
根拠計画	高山市下水道事業整備5ヵ年計画					
実施計画事業	下水道施設管理事業(公共終末処理場)、下水道施設維持修繕・改修事業、雨水排水対策事業					
市長公約	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	公共下水道処理区域内の市民	対象者数	63,232 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・下水道管路施設の適正な維持管理を行い、施設の健全化、延命化に資する		
概要	事業の実施手法(手段)	・管路やマンホールポンプの定期的な調査・清掃・保守点検を実施し、必要に応じて修繕を行う		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	マンホールポンプの清掃・保守点検 12回 (1回/月) 管路施設カメラ調査 L=2,546m 管きよ侵入止水修繕 N=58箇所					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	マンホールポンプの清掃・保守点検	回	目標値	12	12	12
				実績値	12	12	-
				算出根拠等	1回/月	達成率(%)	100
	成果指標	マンホールポンプ故障等による汚水の流出	件	目標値	0	0	0
				実績値	0	0	-
				算出根拠等	達成率(%)	-	-
	成果面	算出根拠等	目標値	-	-	-	
			実績値	-	-	-	
			達成率(%)	-	-	-	
	成果面	算出根拠等	目標値	-	-	-	
			実績値	-	-	-	
			達成率(%)	-	-	-	
	成果面	算出根拠等	目標値	-	-	-	
実績値			-	-	-		
達成率(%)			-	-	-		
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	(A)		48,859	48,700	56,367		
	財源内訳		48,859	48,700	56,367		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
一般財源							
コスト指標	受益者1件当たり(円)		768	770	891		
	受益者	処理区域内の市民	63,620	63,232	63,232		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・総合計画、市長公約ともに位置づけられている事項であり、「すみよさ」のあるまちを実現するためには下水道施設の維持管理は必要不可欠である	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・高山市の地形条件より、公共下水道は2以上の市町村が受益する施設でないため、事業主体を見直す余地はない	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・管路については、汚水中の硫化水素による管きよ腐食が発生し対応したが、マンホールポンプは保守点検を行っているため、汚水流出等の問題は発生していない	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・マンホールポンプ等の修繕は、機種により特定のメーカーでしか修繕ができない場合があるが、施設管理に精通した委託業者による助言等により常にコスト縮減に取り組んでいる	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・下水道整備は、各家庭の快適な住環境整備に有効であり、水路をはじめとする公共水域の水質保全に大いに寄与している	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		8 / 10	→	100点換算	80 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	マンホールポンプ等の修繕は、機種により特定のメーカーでしか修繕ができない場合がある
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・コスト縮減を図っていく上で、既設設備の修繕と設備の機種等の変更改修との比較を行い設備の長寿命化に努める
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・コスト縮減を図っていく上で、既設設備の修繕と設備の機種等の変更改修との比較を行い設備の長寿命化に努める
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H25完了予定
	・コスト縮減を図っていく上で、既設設備の修繕と設備の機種等の変更改修との比較を行い設備の長寿命化に努める				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H25完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	22200	終末処理場管理費		担当課	水道部 下水道課	内線	2971
予算	会計	6	下水道事業特別会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	2	総務費		分野	5	上・下水道
	項	2	下水道施設管理費		基本施策	2	生活環境の向上と流域の水質保全を図る
	目	2	処理場管理費		施策	1	下水施設の整備
根拠計画	高山市下水道事業整備5ヵ年計画						
実施計画事業	汚泥等有効活用事業、下水道施設管理事業(公共終末処理場)、下水道施設維持修繕・改修事業						
市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	公共下水道処理区域内の市民	対象者数	63,232 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・処理場を適正に運転管理を行うことで汚水を適切に処理し、公共水域の水質保全と生活環境の向上に努める ・適切に維持管理を行うことで、施設の健全化及び延命化を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	・施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的に発生する修繕に対応し、継続して汚水の処理を行う ・専門的知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準内に処理する ・汚水の処理に伴い発生する汚泥(産業廃棄物)を適切に処理する		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・宮川終末処理場において、処理水は排水基準内であった ・修繕計画に基づいた事業及び専門業者の定期的な保守作業により機器等の故障による処理停止もなく、適切な汚水の処理を行った					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	維持管理する処理場数(施設)	施設	目標値	1	1	1
				実績値	1	1	-
				算出根拠等	達成率(%)	100	100
	成果指標	放流水の水質基準適合処理場	施設	目標値	1	1	1
				実績値	1	1	-
				算出根拠等	水質検査の結果	達成率(%)	100
	成果指標	機器故障、停電等による水処理不能件数	件	目標値	0	0	0
				実績値	0	0	-
				算出根拠等	汚水処理の停止回数	達成率(%)	-
	成果指標			目標値			
				実績値			
				算出根拠等	達成率(%)		
	成果指標			目標値			
実績値							
算出根拠等				達成率(%)			
補足事項							
・通常の維持管理業務のほか、突発事故(停電・機器故障)発生時には速やかに対応した							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	231,335	237,478	243,150	
	受益者負担(使用料・負担金等)			231,335	237,478	243,150	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	3,636	3,756	3,845	
	受益者	処理区域内の市民	(B)	63,620	63,232	63,232	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価対象外	・生活排水等の汚水を速やかに処理するためには、処理場の維持管理は必要不可欠である
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・下水道施設の維持管理は市町村が行うことが原則であり、公共水域の水質保全と市民の生活環境の向上のために非常に重要な事業である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・処理した水は排水基準に適合する水質を維持している ・コスト削減を図りながら適正に処理場の維持管理を行っており、成果指標の数値は達成している
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・処理場の運転管理は業者に委託しており、適切な管理がなされている ・軽微な修繕等は委託者が行っており、コスト削減と即座の対応を意識した取り組みを行っている
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・総合計画、市長公約に基づき、下水道施設の整備と維持管理を行っているが、市民の生活環境の向上と公共水域の水質保全のため、生活排水等の適正処理を行っていることの政策的重要性は高い
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 8	→	100点換算	88 点
----	-------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にすることを何が必要なのかを記入)	・機器の修繕にあたっては、コストの削減に努めているが、設備が数多く、突発修繕も多く発生している状況である ・計画的に設備の補修や部品等の交換を行うことにより突発修繕を減らし、コスト削減を図る必要がある
--	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・処理場の適切な管理運営を継続して行っていく ・下水道整備5ヵ年計画に基づき延命化に努め、コストの削減をはかる
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・長期的な修繕計画を立てることにより、修繕費用の平準化を進めるとともに、より効率的な管理方法を検討している ・委託業者からもコスト削減に向けた事業提案を促している
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・処理場の適切な管理運営を継続して行っていく ・下水道整備5ヵ年計画に基づき延命化に努め、コストの削減をはかる									

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	(担当課評価に同じ)									

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	23100	特定環境保全管きよ管理費	担当課	水道部 下水道課	内線
種別					2267
予算	会計	6 下水道事業特別会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	2 総務費	分野	5 上・下水道	
	項	3 特定環境保全下水道施設管理費	基本施策	2 生活環境の向上と流域の水質保全を図る	
	目	1 管きよ管理費	施策	1 下水道施設の整備	
根拠計画	高山市下水道事業整備5ヵ年計画				
実施計画事業	下水道施設管理事業(特定環境保全終末処理場)、下水道施設維持修繕・改修事業				
市長公約	市民の生活と生命・財産を守ります 快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	特定環境保全公共下水道処理区域内の市民	対象者数	14,485 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・下水道管路施設の適正な維持管理を行い、施設の健全化、延命化に資する		
概要	事業の実施手法(手段)	・管路やマンホールポンプの定期的な調査・清掃・保守点検を実施し、必要に応じて修繕を行う		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	マンホールポンプの清掃・保守点検 12回 (1回/月)					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	マンホールポンプの清掃・保守点検	回	目標値	12	12	12
				実績値	12	12	-
				算出根拠等	達成率(%)	100	100
	成果指標	マンホールポンプ故障等による汚水の流出	件	目標値	0	0	0
				実績値	0	0	-
				算出根拠等	達成率(%)	-	-
				目標値			
				実績値			-
				算出根拠等	達成率(%)	-	-
				目標値			
				実績値			-
				算出根拠等	達成率(%)	-	-
				目標値			
実績値						-	
算出根拠等				達成率(%)	-	-	-
補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	
	歳出(千円) (A)			25,894	28,063	34,532	
	受益者負担(使用料・負担金等)			25,894	28,063	34,532	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円) (A/B)			1,770	1,937	2,384	
	受益者	処理区域内の市民 (B)		14,631	14,485	14,485	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・総合計画、市長公約ともに位置づけられている事項であり、「すみよさ」のあるまちを実現するためには下水道施設の維持管理は必要不可欠である	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・高山市の地形条件より、特定環境保全公共下水道は2以上の市町村が受益する施設でないため、事業主体を見直す余地はない	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・マンホールポンプは保守点検を行っているため、汚水流出等の問題は発生していない	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・マンホールポンプ等の修繕は、機種により特定のメーカーでしか修繕ができない場合があるが、施設管理に精通した委託業者による助言等により常にコスト縮減に取り組んでいる	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・下水道整備は、各家庭の快適な住環境整備に有効であり、水路をはじめとする公共水域の衛生、水質改善に大いに寄与している	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		9 / 10	→	100点換算	90 点

分析・評価で明らかになった課題 (「A」評価にするために何が必要なのかを記入)	・マンホールポンプ等の修繕は、機種により特定のメーカーでしか修繕ができない場合がある
---	--

(参考) H24事業評価結果 (二次評価)	・コスト縮減を図っていく上で、既設設備の修繕と設備の機種等の変更改修との比較を行い設備の長寿化に努める
-----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・コスト縮減を図っていく上で、既設設備の修繕と設備の機種等の変更改修との比較を行い設備の長寿化に努める
-----------------	---

次年度の実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	・コスト縮減を図っていく上で、既設設備の修繕と設備の機種等の変更改修との比較を行い設備の長寿化に努める				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	23200	特定環境保全終末処理場管理費	担当課	水道部下水道課	内線
	6	下水道事業特別会計			2969
予算	会計	6	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	2	分野	5	上・下水道
	項	3	基本施策	2	生活環境の向上と流域の水質保全を図る
	目	2	施策	1	下水施設の設備
根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画				
実施計画事業	下水道施設管理事業(特定環境保全終末処理場)、下水道施設維持修繕・改修事業				
市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	特定環境保全公共下水道処理区域の住民	対象者数	14,485 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> ・処理場を適正に運転管理を行うことにより、汚水の適切処理及び公共水域の水質保全と生活環境の向上に努める。 ・適切に維持管理を行うことで、施設の健全化及び延命化を図る 		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的知識を有する業者に施設の維持・運転管理を委託し、定期的な保守点検と汚水の適正処理(排水基準に適用)を行う。 ・突発的に発生する修繕に対応する。 ・汚水の処理に伴い発生する汚泥(産業廃棄物)を適切に処理する。 		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	各処理場の処理水の水質は、排水基準値を十分に満たしており、適正な処理ができた。 委託業者の定期的な保守点検作業により機器等の故障による処理停止もなく、適切な汚水の処理を行った					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	維持管理する処理場数(施設)	施設	目標値	10	10	10
				実績値	10	10	-
				算出根拠等	達成率(%)	100	100
	成果指標	放流水の水質基準適合処理場	施設	目標値	10	10	10
				実績値	10	10	-
				算出根拠等	水質検査の結果	達成率(%)	100
	成果指標	機器故障、停電等による水処理不能件数	件	目標値	0	0	0
				実績値	0	0	-
				算出根拠等	事故発生数の報告件数	達成率(%)	-
	算出根拠等			目標値			
				実績値			
				算出根拠等	達成率(%)		
	算出根拠等			目標値			
実績値							
算出根拠等				達成率(%)			
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	176,887	179,878	186,981	
	受益者負担(使用料・負担金等)			176,887	179,878	186,981	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	12,090	12,418	12,909	
	受益者	処理区域内の住民	(B)	14,631	14,485	14,485	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価対象外	・生活排水等の汚水を速やかに処理するためには、処理場の維持管理は必要不可欠である
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・下水道施設の維持管理は市町村が行うことが原則であり、公共水域の水質保全と市民の生活環境の向上のために非常に重要な事業である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・処理した水は排水基準に適合する水質を維持している ・コスト削減を図りながら適正に処理場の維持管理を行っており、成果指標の数値は達成している
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・処理場の運転管理は業者に委託しており、適切な管理がなされている ・軽微な修繕等は委託者が行っており、コスト削減と即座の対応を意識した取り組みを行っている
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・総合計画、市長公約に基づき、下水道施設の整備と維持管理を行っているが、市民の生活環境の向上と公共水域の水質保全のため、生活排水等の適正処理を行っていることの政策的重要性は高い
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 8	→	100点換算	88 点
----	-------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が重要なかを記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の修繕にあたっては、作業に必要な設備が多く、突発な故障も頻出している。 ・計画的な補修や部品の交換を行うことにより修繕箇所を減らし、コスト削減を図る必要がある
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・処理場の適切な管理運営を継続して行っていく
----------------------	------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な修繕計画を立てることにより、修繕費用の平準化を進めるとともに、より効率的な管理方法を検討している ・委託業者からもコスト削減に向けた事業提案を促している
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H25完了予定
	・処理場の適切な管理運営を継続して行っていく				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H25完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	21100	一般管理事務費		担当課	水道部 下水道課		内線
	種目						2253
予算	会計	10	農業集落排水事業特別会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	2	総務費		分野	5	上・下水道
	項	1	総務管理費		基本施策	2	生活環境の向上と流域の水質保全を図る
	目	1	一般管理費		施策	2	水洗化の普及
根拠計画	高山市下水道事業整備5ヵ年計画						
実施計画事業	水洗化普及促進事業						
市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	農業集落排水、簡易排水、小規模集合排水、個別排水処理区域内の市民	対象者数	10,166 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 安定した農業集落排水事業(下水道)の運営のため、受益者に対し、受益者分担金及び下水道使用料を適正に賦課、徴収し、収入の確保を図る できるだけ多くの市民に農業集落排水施設を使用してもらえよう水洗化の普及を促進し、使用料収入の確保を図る 		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 受益者分担金、使用料の賦課及び徴収を適正に行う 水洗化の普及促進のため、水洗便所等改造資金融資あっせん制度の周知と利用促進をすすめる 		

2 事業の推移・結果(Do)

成果 指 標	H24の実績	<ul style="list-style-type: none"> 農業集落排水事業受益者分担金及び農業集落排水使用料の適正な賦課、徴収 上下水道課と連携を図り、水道料金、農業集落排水使用料の滞納整理を実施 水洗化啓発文書の送付、個別訪問等による水洗化普及の実施 未水洗化世帯の未水洗理由のアンケート調査を実施 					
	指標名						
		単位	目標・実績	H23	H24	H25	
	成果指標	農業集落排水事業受益者分担金現年度収納率	%	目標値	100	100	100
	算出根拠等		実績値	100	100	-	
			達成率(%)	100	100	-	
	成果指標	農業集落排水使用料現年度収納率	%	目標値	100	100	100
	算出根拠等		実績値	100	100	-	
			達成率(%)	100	100	-	
	成果指標	水洗化率(市全体)	%	目標値	100.0	100.0	100.0
	算出根拠等		実績値	85	87	-	
			達成率(%)	85	87	-	
	算出根拠等		目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
補足事項							
コスト 面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	19,251	11,061	15,460	
	受益者負担(使用料・負担金等)			19,251	11,061	15,460	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源						
コスト 指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,867	1,088	1,521		
	受益者	(B)	10,313	10,166	10,166		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価対象外	・当事業は、農業集落排水事業受益者分担金及び農業集落排水使用料の適正な賦課、徴収を行い、農業集落排水事業の安定した財源の確保、運営を図ることを目的とするため、ニーズについては評価し難い
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・農業集落排水事業受益者分担金及び農業集落排水使用料の適正な賦課、徴収は農業集落排水施設を整備し、管理運営を行っている市が行うべきことである
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・農業集落排水事業受益者分担金、使用料収入も99%以上と高い収納率を確保している ・水洗化率は、概ね順調に推移しているが、水洗化率の伸びが鈍化している地域がある
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・農業集落排水使用料徴収業務を上水道課に委託し、事務の効率化とコスト縮減を図っているが、委託の内容等を見直し、さらに縮減できるような努める ・水洗便所等改造資金融資預託金は、融資残高に応じた必要最低限の預託とし、コスト縮減を図っている
		B (1) 事業効率化・コスト縮減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・農業集落排水事業の財源を確保することにより、安定した運営が図られているが、更なる収納率の向上に努める ・水洗化が進むことにより、水質保全、生活環境の向上が図られるとともに、使用料収入の増加につながる
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	6 / 8	→	100点換算	75 点
----	-------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題 (「A」評価にするために何が必要なかを記入)	<ul style="list-style-type: none"> 滞納処分、給水停止などを行い、更なる収納率の向上に努める必要がある 委託の内容等を見直し、さらに縮減できるような努める必要がある 未水洗化世帯の分析を行い、有効的な普及事業を行う必要がある
--	--

(参考) H24事業評価結果 (二次評価)	・収納率向上に向け、差し押さえ等滞納に対する対応の強化を図る必要がある。
-----------------------	--------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に滞納整理を実施するとともに、使用料に関しては、上水道課と連携を図り、給水停止を実施しながら徴収強化を図っている 委託業務については、さらに縮減できるものはないか業務内容の見直しと分析を行う 水洗化率の伸びが鈍化している地域の普及強化
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・課題について、分析等を行うとともに、継続して事業を実施する								

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	<ul style="list-style-type: none"> 収納率向上に向け、差し押さえ等滞納に対する対応の強化を図る必要がある。 整備済地域の水洗化率向上を図る必要がある。 								

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	22100	農業集落排水管きよ管理費	担当課	水道部 下水道課	内線
	種目				2267
予算	会計	10 農業集落排水事業特別会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	2 総務費	分野	5 上・下水道	
	項	2 農業集落排水施設管理費	基本施策	2 生活環境の向上と流域の水質保全を図る	
	目	1 農業集落排水施設管理費	施策	1 下水道施設の整備	
根拠計画	高山市下水道事業整備5ヵ年計画				
実施計画事業	下水道施設管理事業(農業集落排水施設)、下水道施設維持修繕・改修事業				
市長公約	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	農業集落排水処理区域内の市民	対象者数	9,536 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・農業集落排水処理施設(管路施設)の適正な維持管理を行い、施設の健全化、延命化に資する		
概要	事業の実手法(手段)	・管路やマンホールポンプの定期的な調査・清掃・保守点検を実施し、必要に応じて修繕を行う		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	マンホールポンプの清掃・保守点検 12回 (1回/月)					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	マンホールポンプの清掃・保守点検	回	目標値	12	12	12
				実績値	12	12	-
				算出根拠等	達成率(%)	100	100
	成果指標	マンホールポンプ故障等による汚水の流出	件	目標値	0	0	0
				実績値	0	0	-
				算出根拠等	達成率(%)	-	-
				目標値			
				実績値			
				算出根拠等	達成率(%)		
				目標値			
				実績値			
				算出根拠等	達成率(%)		
				目標値			
実績値							
算出根拠等				達成率(%)			
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	24,248	24,646	27,760	
	財源内訳						
	受益者負担(使用料・負担金等)			24,248	24,646	27,760	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	2,512	2,585	2,911	
	受益者	処理区域内の市民	(B)	9,653	9,536	9,536	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・総合計画、市長公約ともに位置づけられている事項であり、「すみよさ」のあるまちを実現するためには下水道施設の維持管理は必要不可欠である
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・高山市の地形条件より、農業集落排水施設は2以上の市町村が受益する施設でないため、事業主体を見直す余地はない
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・マンホールポンプは保守点検を行っているため、汚水流出等の問題は発生していない
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・マンホールポンプ等の修繕は、機種により特定のメーカーでしか修繕ができない場合があるが、施設管理に精通した委託業者による助言等により常にコスト縮減に取り組んでいる
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・下水道整備は、各家庭の快適な住環境整備に有効であり、水路をはじめとする公共水域の衛生、水質改善に大いに寄与している
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題 (「A」評価にするために何が必要なかを記入)	・マンホールポンプ等の修繕は、機種により特定のメーカーでしか修繕ができない場合がある
--	--

(参考) H24事業評価結果 (二次評価)	・コスト縮減を図っていく上で、既設設備の修繕と設備の機種等の変更改修との比較を行い設備の長寿命化に努める
-----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・コスト縮減を図っていく上で、既設設備の修繕と設備の機種等の変更改修との比較を行い設備の長寿命化に努める
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	・コスト縮減を図っていく上で、既設設備の修繕と設備の機種等の変更改修との比較を行い設備の長寿命化に努める				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	22105	農業集落排水処理場管理費		担当課	水道部 下水道課	内線	2971
予算	会計	10	農業集落排水事業特別会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	1	総務費	分野	5	上・下水道	
	項	2	農業集落排水施設管理費	基本施策	2	生活環境の向上と流域の水質保全を図る	
	目	1	農業集落排水施設管理費	施策	1	下水施設の整備	
根拠計画	高山市下水道事業整備5か年計画						
実施計画事業	下水道施設管理事業(農業集落排水施設)、下水道施設維持修繕・改修事業						
市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	農業集落排水処理区域内の市民	対象者数	9,536 人
概要	どういった状態にしたいのか(意図)	・処理場を適正に運転管理を行うことで汚水を適切に処理し、公共水域の水質保全と生活環境の向上に努める ・適切に維持管理を行うことで、施設の健全化及び延命化を図る		
	事業の実施手法(手段)	・施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的に発生する修繕に対応し、継続して汚水の処理を行う ・専門的知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準内に処理する ・汚水の処理に伴い発生する汚泥(一般廃棄物)を適切に処理する		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	各処理場において、処理水は排水基準内であった 委託業者の定期的な保守点検作業により機器等の故障による処理停止もなく、適切な汚水の処理を行った					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	維持管理する処理場数(施設)	施設	目標値	26	26	26
				実績値	26	26	-
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	-
	成果指標	放流水の水質基準適合処理場	施設	目標値	26	26	26
				実績値	26	26	-
	算出根拠等	水質検査の結果		達成率(%)	100	100	-
	成果指標	機器故障、停電等による水処理不能件数	件	目標値	0	0	0
				実績値	0	0	-
	算出根拠等	事故発生数の報告件数		達成率(%)			-
	算出根拠等			目標値			-
実績値						-	
算出根拠等			達成率(%)			-	
補足事項							
・停電や機器故障の発生時には速やかに対応した							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 156,132	156,214	160,596		
	受益者負担(使用料・負担金等)		156,132	156,214	160,596		
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 16,174	16,382	16,841		
	受益者	処理区域内の市民	(B) 9,653	9,536	9,536		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価対象外	・生活排水等の汚水を速やかに処理するためには、処理場の維持管理は必要不可欠である
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・農集排施設の維持管理は市町村が行うことが原則であり、公共水域の水質保全と市民の生活環境の向上のために非常に重要な事業である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・処理した水は排水基準に適合する水質を維持している ・コスト削減を図りながら適正に処理場の維持管理を行っており、成果指標の数値は達成している
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・処理場の運転管理は業者に委託しており、適切な管理がなされている ・軽微な修繕等は委託者が行っており、コスト削減と即座の対応を意識した取り組みを行っている
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・総合計画、市長公約に基づき、農集排施設の整備と維持管理を行っているが、市民の生活環境の向上と公共水域の水質保全のため、生活排水等の適正処理を行っていることの政策的重要性は高い
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 8	→	100点換算	88 点
----	-------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にすることが必要なかを記入)	・機器の修繕にあたっては、コストの削減に努めているが、設備が数多く、突発修繕も多く発生している状況である ・予防保全の考え方も取り入れ、計画的に設備の補修や部品等の交換を行うことにより修繕箇所を減らし、コスト削減を図る必要がある
-------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・処理場の適切な管理運営を継続して行っていく
----------------------	------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・長期的な修繕計画を立てることにより、修繕費用の平準化を進めるとともに、より効率的な管理方法を検討している ・委託業者からもコスト削減に向けた事業提案を促している
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・処理場の適切な管理運営を継続して行っていく				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)(担当課評価に同じ)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	22200	簡易排水施設管理費		担当課	水道部 下水道課	内線	2971
予算	会計	10	農業集落排水事業特別会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	1	総務費	分野	5	上・下水道	
	項	2	農業集落排水施設管理費	基本施策	2	生活環境の向上と流域の水質保全を図る	
	目	2	簡易排水施設管理費	施策	1	下水施設の整備	
根拠計画	高山市下水道事業整備5ヵ年計画						
実施計画事業	下水道施設管理事業(簡易排水処理施設)、下水道施設維持修繕・改修事業						
市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	簡易排水処理区域内の市民	対象者数	165 人
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	施設を適正に運転管理を行うことで汚水を適切に処理し、公共水域の水質保全と生活環境の向上に努める。 適切に維持管理を行うことで、施設の健全化及び延命化を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的に発生する修繕に対応し、継続して汚水の処理を行う。 ・専門的知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準内に処理する。 ・汚水の処理に伴い発生する汚泥(一般廃棄物)を適切に処理する。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	各施設において、処理水は排水基準内であった。 委託業者の定期的な保守点検作業により機器等の故障による処理停止もなく、適切な汚水の処理を行った。					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	処理場数(施設)	施設	目標値	4	4	4
				実績値	4	4	-
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	-
	成果指標	放流水の水質基準適合処理場	施設	目標値	4	4	4
				実績値	4	4	-
	算出根拠等	水質検査の結果		達成率(%)	100	100	-
	成果指標	機器故障、停電等による水処理不能件数	件	目標値	0	0	0
				実績値	0	0	-
	算出根拠等	事故発生 の報告件数		達成率(%)			-
	算出根拠等			目標値			-
実績値						-	
算出根拠等			達成率(%)			-	
算出根拠等			目標値			-	
			実績値			-	
算出根拠等			達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	3,472	3,443	3,668	
	受益者負担(使用料・負担金等)			3,472	3,443	3,668	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A./B)	21,042	20,867	22,230	
	受益者	処理区域内の市民	(B)	165	165	165	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価対象外	・生活排水等の汚水を速やかに処理するためには、施設の維持管理は必要不可欠である。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・施設の維持管理は市町村が行うことが原則であり、公共水域の水質保全と市民の生活環境の向上のためにも非常に重要な事業である。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・処理した水は排水基準に適合する水質を維持している。 ・コスト削減を図りながら適正に施設の維持管理を行っており、成果指標の数値は達成している。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・施設の運転管理は業者に委託しており、適切な管理がなされている。軽微な修繕等は受益者が行っており、コスト削減と即座の対応を意識した取り組みを行っている。
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・総合計画、市長公約に基づき、施設の整備と維持管理を行っているが、市民の生活環境の向上と公共水域の水質保全のため、生活排水等の適正処理を行っていくことの政策的な重要性は高い。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 8	→	100点換算	88 点
----	-------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・機器の修繕にあたってはコストの削減に努めているが、突発修繕も発生している状況である。 ・計画的に設備の補修や部品等の交換を行うことにより修繕箇所を減らし、コスト削減を図る必要がある。
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・施設の適切な管理運営を継続して行っていく
----------------------	-----------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・長期的な修繕計画を立てることにより、修繕費用の平準化を進めるとともに、より効率的な管理方法を検討している。 ・委託業者からもコスト削減に向けた事業提案を促している。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	・施設の適切な管理運営を継続して行っていく				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	22300	小規模集排水施設管理費		担当課	水道部 下水道課	内線	2971
予算	会計	10	農業集排水事業特別会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	1	総務費	分野	5	上・下水道	
	項	2	農業集排水施設管理費	基本施策	2	生活環境の向上と流域の水質保全を図る	
	目	3	小規模集排水施設管理費	施策	1	下水施設の整備	
根拠計画	高山市下水道事業整備5ヵ年計画						
実施計画事業	下水道施設管理事業(小規模集排水処理施設)、下水道施設維持修繕・改修事業						
市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小規模集排水処理区域内の市民	対象者数	293 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	施設を適正に運転管理を行うことで汚水を適切に処理し、公共水域の水質保全と生活環境の向上に努める。 適切に維持管理を行うことで、施設の健全化及び延命化を図る。		
概要	事業の実手法(手段)	施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的に発生する修繕に対応し、継続して汚水の処理を行う。 ・専門的知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準内に処理する。 ・汚水の処理に伴い発生する汚泥(一般廃棄物)を適切に処理する。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	各施設において、処理水は排水基準内であった。 委託業者の定期的な保守点検作業により機器等の故障による処理停止もなく、適切な汚水の処理を行った。					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	処理場数(施設)	施設	目標値	9	9	9
				実績値	9	9	-
				算出根拠等	達成率(%)	100	100
	成果指標	放流水の水質基準適合処理場	施設	目標値	9	9	9
				実績値	9	9	-
				算出根拠等	水質検査の結果	達成率(%)	100
	成果指標	機器故障、停電等による水処理不能件数	件	目標値	0	0	0
				実績値	0	0	-
				算出根拠等	事故発生時の報告件数	達成率(%)	-
	成果指標			目標値			
				実績値			
				算出根拠等	達成率(%)		
	成果指標			目標値			
実績値							
算出根拠等				達成率(%)			
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	7,086	7,864	8,465	
	受益者負担(使用料・負担金等)			7,086	7,864	8,465	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A./B)	22,712	26,840	28,891	
	受益者	処理区域内の市民	(B)	312	293	293	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価対象外	・生活排水等の汚水を速やかに処理するためには、施設の維持管理は必要不可欠である。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・施設の維持管理は市町村が行うことが原則であり、公共水域の水質保全と市民の生活環境の向上のためにも非常に重要な事業である。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・処理した水は排水基準に適合する水質を維持している。 ・コスト削減を図りながら適正に施設の維持管理を行っており、成果指標の数値は達成している。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・施設の運転管理は業者に委託しており、適切な管理がなされている。軽微な修繕等は受益者が行っており、コスト削減と即座の対応を意識した取り組みを行っている。
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・総合計画、市長公約に基づき、施設の整備と維持管理を行っているが、市民の生活環境の向上と公共水域の水質保全のため、生活排水等の適正処理を行っていくことの政策的な重要性は高い。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 8	→	100点換算	88 点
----	-------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・機器の修繕にあたってはコストの削減に努めているが、突発修繕も発生している状況である。 ・計画的に設備の補修や部品の交換を行うことにより修繕箇所を減らし、コスト削減を図る必要がある。
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・施設の適切な管理運営を継続して行っていく
----------------------	-----------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・長期的な修繕計画を立てることにより、修繕費用の平準化を進めるとともに、より効率的な管理方法を検討している。 ・委託業者からもコスト削減に向けた事業提案を促している。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・施設の適切な管理運営を継続して行っていく				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	22400	個別排水施設管理費		担当課	水道部 下水道課		内線
種別	10	農業集落排水事業特別会計		政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして		2971
予算	会計	10	農業集落排水事業特別会計	総合計画	分野	5 上・下水道	
	款	1	総務費		基本施策	2 生活環境の向上と流域の水質保全を図る	
	項	2	農業集落排水施設管理費		施策	1 下水施設の整備	
	目	4	個別排水施設管理費				
根拠計画	高山市下水道事業整備5ヵ年計画						
実施計画事業	下水道施設管理事業(個別排水処理施設)、下水道施設維持修繕・改修事業						
市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	個別排水処理区域内の市民	対象者数	172 人
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	施設を適正に運転管理を行うことで汚水を適切に処理し、公共水域の水質保全と生活環境の向上に努める。 適切に維持管理を行うことで、施設の健全化及び延命化を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的に発生する修繕に対応し、継続して汚水の処理を行う。 ・専門的知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水を排水基準内に処理する。 ・汚水の処理に伴い発生する汚泥(一般廃棄物)を適切に処理する。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	各施設において、処理水は排水基準内であった。 委託業者の定期的な保守点検作業により機器等の故障による処理停止もなく、適切な汚水の処理を行った。																																																																																																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>目標・実績</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">活動指標</td> <td rowspan="2">処理場数(施設)</td> <td>目標値</td> <td>57</td> <td>57</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>57</td> <td>57</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2"></td> <td>達成率(%)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標</td> <td rowspan="2">放流水の水質基準適合処理場</td> <td>目標値</td> <td>57</td> <td>57</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>57</td> <td>57</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">水質検査の結果</td> <td>達成率(%)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標</td> <td rowspan="2">機器故障、停電等による水処理不能件数</td> <td>目標値</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">事故発生(報告)件数</td> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2"></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2"></td> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6">補足事項</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">コスト面</td> <td colspan="2">事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)</td> <td>H23 決算額</td> <td>H24 決算額</td> <td>H25 予算額</td> </tr> <tr> <td colspan="2">歳出(千円)</td> <td>(A) 4,478</td> <td>4,635</td> <td>4,961</td> </tr> <tr> <td colspan="2">受益者負担(使用料・負担金等)</td> <td>4,478</td> <td>4,635</td> <td>4,961</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他特定財源(国・県支出金・起債等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">一般財源</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コスト指標</td> <td colspan="2">受益者1件当たり(円)</td> <td>(A./B) 24,470</td> <td>26,948</td> <td>28,843</td> </tr> <tr> <td>受益者</td> <td>処理区域内の市民 (B)</td> <td>183</td> <td>172</td> <td>172</td> </tr> </tbody></table>						指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	活動指標	処理場数(施設)	目標値	57	57	57	実績値	57	57	-	算出根拠等		達成率(%)	100	100	-					成果指標	放流水の水質基準適合処理場	目標値	57	57	57	実績値	57	57	-	算出根拠等	水質検査の結果	達成率(%)	100	100	-					成果指標	機器故障、停電等による水処理不能件数	目標値	0	0	0	実績値	0	0	-	算出根拠等	事故発生(報告)件数	達成率(%)			-					算出根拠等		目標値			-	実績値			-	算出根拠等		達成率(%)			-					補足事項						コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	歳出(千円)		(A) 4,478	4,635	4,961	受益者負担(使用料・負担金等)		4,478	4,635	4,961	その他特定財源(国・県支出金・起債等)					一般財源					コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A./B) 24,470	26,948	28,843	受益者	処理区域内の市民 (B)	183	172	172
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25																																																																																																																																	
	活動指標	処理場数(施設)	目標値	57	57	57																																																																																																																																	
			実績値	57	57	-																																																																																																																																	
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	-																																																																																																																																	
	成果指標	放流水の水質基準適合処理場	目標値	57	57	57																																																																																																																																	
			実績値	57	57	-																																																																																																																																	
	算出根拠等	水質検査の結果	達成率(%)	100	100	-																																																																																																																																	
	成果指標	機器故障、停電等による水処理不能件数	目標値	0	0	0																																																																																																																																	
			実績値	0	0	-																																																																																																																																	
	算出根拠等	事故発生(報告)件数	達成率(%)			-																																																																																																																																	
算出根拠等		目標値			-																																																																																																																																		
		実績値			-																																																																																																																																		
算出根拠等		達成率(%)			-																																																																																																																																		
補足事項																																																																																																																																							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額																																																																																																																																		
	歳出(千円)		(A) 4,478	4,635	4,961																																																																																																																																		
	受益者負担(使用料・負担金等)		4,478	4,635	4,961																																																																																																																																		
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)																																																																																																																																						
	一般財源																																																																																																																																						
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A./B) 24,470	26,948	28,843																																																																																																																																		
	受益者	処理区域内の市民 (B)	183	172	172																																																																																																																																		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価対象外	・生活排水等の汚水を速やかに処理するためには、施設の維持管理は必要不可欠である。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・施設の維持管理は市町村が行うことが原則であり、公共水域の水質保全と市民の生活環境の向上のためにも非常に重要な事業である。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・処理した水は排水基準に適合する水質を維持している。 ・コスト削減を図りながら適正に施設の維持管理を行っており、成果指標の数値は達成している。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・施設の運転管理は業者に委託しており、適切な管理がなされている。軽微な修繕等は受益者が行っており、コスト削減と即座の対応を意識した取り組みを行っている。
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・総合計画、市長公約に基づき、施設の整備と維持管理を行っているが、市民の生活環境の向上と公共水域の水質保全のため、生活排水等の適正処理を行っていくことの政策的な重要性は高い。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 8	→	100点換算	88 点
----	-------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題 (FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・機器の修繕にあたってはコストの削減に努めているが、突発修繕も発生している状況である。 ・計画的に設備の補修や部品等の交換を行うことにより修繕箇所を減らし、コスト削減を図る必要がある。
--	---

(参考) H24事業評価結果 (二次評価)	・施設の適切な管理運営を継続して行っていく
-----------------------	-----------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・長期的な修繕計画を立てることにより、修繕費用の平準化を進めるとともに、より効率的な管理方法を検討している。 ・委託業者からもコスト削減に向けた事業提案を促している。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・施設の適切な管理運営を継続して行っていく				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	(担当課評価に同じ)				